※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和５年度　地歴公民科

教科	地歴	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	詳述歴史総合（実教出版）						
副教材等	詳述歴史総合　徹底整理演習ノート　教科書準拠　新課程版（実教出版） グローバルワイド最新世界史図表（第一学習社） 最新日本史図表（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇15-16 世紀以降の近現代を中心に学習します。
〇中学校での学びを踏まえながら、世界と日本の歴史を結びつけて学習します。
〇世界とその中に位置する日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史を学習します。
〇様々な歴史的事象を比較し、人間や社会の共通性と相違点を考えよう。また、歴史を背景とした世界の国・地域の諸事情を踏まえ、将来の日本のあり方を考えよう。

２　学習の到達目標

〇近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
〇近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
〇近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	〇近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 〇諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	〇近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。 〇考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	〇近現代の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとしている。 〇よりよい社会の実現を視野に，自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに，次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期（４月～７月）	近代化と私たち	・近代化への胎動 ・欧米の市民革命と国民国家の形成 ・アジアの変容と日本の近代化 ・帝国主義の時代	a:交通と貿易，産業と人口，権利意識と政治参加や国民の義務，学校教育，労働と家族，移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。18 世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。産業革命と交通・通信手段の革新，中国の開港と日本の開国などを基に，工業化と世界市場の形成を理解する。18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向，日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，立憲体制と国民国家の形成を理解する。列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 b:近代化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現する。18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。産業革命の影響，中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，アジア諸国と	小テスト 定期考査	提出課題 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	近代化と私たち	・近代化への胎動 ・欧米の市民革命と国民国家の形成 ・アジアの変容と日本の近代化 ・帝国主義の時代	欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。国民国家の形成の背景や影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。 c：18～19 世紀のできごとなどに関する諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			

※令和４年度以降入学生用

前期（7月～10月）後期（10月～12月）	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・第一次世界大戦と大衆社会 ・経済危機と第二次世界大戦	a:第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。大衆の政治参加と女性の地位向上，大正デモクラシーと政党政治，大量消費社会と大衆文化，教育の普及とマスメディアの発達などを基に，大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。世界恐慌，ファシズムの伸張，日本の対外政策などを基に，国際協調体制の動揺を理解する。第二次世界大戦の展開，国際連合と国際経済体制，冷戦の始まりとアジア諸国の動向，戦後改革と日本国憲法の制定，平和条約と日本の独立の回復などを基に，第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 b:第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現する。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し，表現する。	小テスト 定期考査	提出課題 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	国際秩序の変化や大衆化と私たち	・第一次世界大戦と大衆社会 ・経済危機と第二次世界大戦	b:経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第二次世界大戦の性格と惨禍，第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活，日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し，表現する。 c:20 世紀前半から 2 つの世界大戦期のできごとに関する諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。	小テスト 定期考査	提出課題 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

後期（1月～3月）	グローバル化と私たち	・冷戦と脱植民地化 ・多極化する世界 ・グローバル化と現代世界	a:脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，国際政治の変容を理解する。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携，計画経済とその波及，日本の高度経済成長などを基に，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，市場経済の変容と課題を理解する。冷戦の終結，民主化の進展，地域統合の拡大と変容，地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に，冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。持続可能な社会の実現を視野に入れ，自ら主題を設定し，歴史的経緯を踏まえて，現代的な諸課題を理解する。 b:地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現する。	小テスト 定期考査	提出課題 小テスト 定期考査	授業態度 発問評価 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	グローバル化と私たち	・冷戦と脱植民地化 ・多極化する世界 ・グローバル化と現代世界	b:アジアの諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現する。冷戦の変容と終結の背景，民主化や地域統合の背景と影響，地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現する。事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり，現代的な諸課題を展望したりするなどして，主題について多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 c: 2 つの世界大戦期後からグローバル化する現代世界のできごとに関する諸資料を活用し，課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組む。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度